



プレス民主号外
川崎市・幸区・中原区
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

補正予算は百年に一度の霞が関(省庁)バブル!

— 民主党は税金のムダ使いを徹底追及 —



じょうじま

城島 光力

(前衆議院議員)

鳩山代表、岡田幹事長の新体制!
民主党は5月16日の代表選挙を経て鳩山代表、岡田幹事長の新体制となりました。今後民主党は挙党一致で政権交代にむけて全力投球します。

官僚の天下りを温存。霞が関バブル
百年に一度の大不況と言われる現在、限られた税金を有効に使うことが肝心です。しかし税金のムダ使いが無くなるどころか、今はまさに官僚バブルと揶揄されるほど官僚と政府・自民党が一体となつて税金のムダ使いを続けています。

この過去最大の14兆円の補正予算は民主党の調査によると900人を超す官僚が天下りしている独立行政法人、公益法人へ何と3兆円が投入されています。しかも中味の検討はこれからという「ハコモノ」に多額の予算がつき込まれています。財務省OBの榊原英資氏は「各省庁から寄せられた支出の積み上げであり、典型的な理念なきバラマキだ」と厳しく批判しています。



子育て支援にも理念なきバラマキが
バラマキ政策の象徴的なものに「子育て応援特別手当」があります。この政策は3〜5才児までのお子さん一人につき3万6千円を支給するものです。しかしこの支給は1回限りで、担当大臣も経済効果は期待できないとか、十分ではないとの発言をしています。これでは選挙を意識したバラマキ政策と言わざるを得ません。子育て支援に最も大切なことは継続性だと思えます。

民主党は中学校卒業まで、お子様一人につき年額31万2千円を支給する「子ども手当」の創設が今こそ必要だと主張しています。合わせて保育所の整備、公立高校の学費無償化や奨学金の拡充など子育て支援の充実を政策の基本の一つにしています。

麻生総理の下、予算提出は今回で4回目。そして総額44兆円もの赤字国債発行という歴代内閣過去最大の借金を背負うこととなります。こうした税金のムダ使いを一掃するためにも政権交代が何とすることも必要です。